

授業概要

子どもの感性を豊かにして、子供が自ら表現していこうとする力を養うために、保育者は多くの経験を提供する必要がある。本授業では、学生が様々な経験を経た上で、子供の表現力を引き出せる指導力を養う。オンライン授業が併用される場合は、シラバス内容が変更となるので、その場合は追って指示する。

授業計画

第 1 回	ガイダンス
第 2 回	リズムあそび① スキップ ギャロップ ツーステップを習得
第 3 回	リズムあそび② フォークダンスやエアロビクスダンス
第 4 回	リズムあそび③ 手をたたく、足を鳴らす、そして動く。
第 5 回	表現あそび① 音を集めて動く。音の鳴るものを用意。
第 6 回	表現あそび② シンメトリー ユニゾン カノンを利用して
第 7 回	表現あそび③ 手遊びにチャレンジ。知っている手遊びを紹介。
第 8 回	表現あそび④ わらべうた遊び。自由表現
第 9 回	実技テスト スキップ、ツーステップ、ギャロップなど。基本運動。
第 10 回	模擬保育指導 指導案の書き方を他の具体例から検討する
第 11 回	模擬保育指導 指導案作成
第 12 回	模擬保育指導 指導案作成&校正
第 13 回	模擬指導
第 14 回	模擬指導振り返り
第 15 回	ステップテスト
第 16 回	自己評価&相対評価 反省

到達目標

- ・多くの体験学習によって、振付や踊り、表現への抵抗感をなくし自ら楽しく身体表現できるようにする。
- ・指導案を作成できるようにする。また、グループ活動によって、協働性を身につけ、自己表現できる力を培い、実践力を身につける。

履修上の注意

- ・全回出席を原則とする。見学は不可、事情がある場合は相談のこと。
- ・遅刻は、20分までを認めるが、それ以降は欠席とする。遅刻3回で欠席1回の扱いとする。
- ・全ての回で運動に適した服装・身だしなみで受講すること。胸にA5サイズの名前ゼッケンをつける。
- ・初回から用意するもの：体操着（ジャージ）、A5サイズ名前ゼッケン、A4サイズファイル
*保育内容Ⅰで使ったノートや折紙は不要。プリント配布するため、保管のファイルのみ必要。

予習・復習

予習：シラバスを確認。前回配布されたプリントに目を通す。

復習：授業最後にチャートシートを配布する。授業後に振り返り記入して、ファイルに保管する。
(保育内容Ⅱではノートは不要。A4ファイルにプリント保管し、最後に提出)

評価方法

レポート・課題80%、受講態度20%とする。

レポート・課題には、リアクションペーパー、グループ発表、ステップ等の評価、チャートシートの記録を含む。授業最後には個人ファイルを提出。

テキスト

- ・教科書名：幼稚園教育要領
- ・著者名：文部科学省

プリントを配布する。

参考文献：『子どもの運動・表現遊び』 宮下恭子編 大学図書出版